

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

加速乳房部分照射用小線源治療アプリケーションを用いた密封小線源治療計画装置の違いによる線量分布の比較

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年3月～2020年3月末までに SAVI アプリケーションを用いた加速乳房部分照射を行った方

2. 研究目的・方法

当院は不均質計算が可能となるモデルベースの計算アルゴリズムを用いた治療計画装置（以下：新装置）を2016年1月より導入しました。加速乳房部分照射（accelerated partial breast irradiation: APBI）の1つの方法に、乳房小線源治療用アプリケーション（以下 SAVI アプリケーション）を用いた組織内照射があります。この照射はアプリケーションおよび治療部位の特性上、空気や脂肪、液体等の不均質な物質を多く含んだ状態で治療が実施されます。そこで当院で SAVI アプリケーションを用いて治療を行った患者について新装置と、従来の水等価による治療計画装置（以下：旧装置）を用いて不均質部分における計算を行い、その計算結果がどの程度異なるかを明らかにすることを目的としています。また治療期間中に SAVI アプリケーションの位置ずれが生じた事例を経験しており、その原因について①患者さんの基本情報：年齢、性別、診断名、局在区域②治療計画時と治療期間中のアプリケーションの挿入方向・位置③手術前の乳房の乳腺組織の割合（MRI, マンモグラフィ）④治療計画時と治療期間中のアプリケーション周囲に存在する空気量⑤治療計画時と治療期間中の治療計画装置の違いによる線量評価指標について検討を行います。

研究期間

2014年3月1日～2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

対象とする試料は、SAVI アプリケーションを用いて治療を実施された患者さんの治療期間中の CT 画像を用いて線量計算を行った代表的な指標となるパラメータです。また治療期間中における SAVI アプリケーションの動きの原因分析を行うため手術前の MRI 画像、マンモグラフィを用いて解析を行います。

4. お問い合わせ先

昭和大学病院 放射線技術部 久保 聡

電話番号 03-3784-8582 E-mail kubotadasi@cmed.showa-u.ac.jp